

## 第6学年 図画工作科学習指導案

### 1 題材名 未来のわたし

#### 2 題材の目標

- 未来の自分を想像して表すときの感覚や行為を通して、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解する。また、表現方法に応じて針金やペンチを利用するとともに、既習の紙粘土や水彩絵の具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法を組み合わせたりして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができる。

(知識・技能)

- 未来の自分の様子について感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えることができる。また、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり、考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることができる。

(思考・判断・表現)

- 主体的に自分の未来を想像して、ポーズや周りの様子を立体に表す学習活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を想像しようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

#### 3 本校研修の3つの視点を重視した授業づくり

この題材で大切にしたいのは、主体的に取り組もうとする態度である。つくり出す喜びを味わい、主体的に未来の自分を想像して、ポーズや周りの様子を考えながら立体に表す学習活動に取り組むことのできる授業にしたい。そのために、以下の3つの視点から手立てを考えた。

##### ①題材や教材との出会わせ方の工夫

導入では、未来の自分の姿を思い浮かべて、つくりたいもののイメージをもつ。未来の自分について、職業だけに限らず、やりたいことや夢など、自由に想像し、友達との伝え合いや教師との対話、動作化、アイデアスケッチの活動を通して、どのように表すか考える時間を十分に設ける。

##### ②追究場面の工夫

表したい場面に合わせて、既習の材料を活用し、工夫して表すことができるようにする。児童自身には、自分の表したいことを表すために必要な材料や表し方について考え、見通しをもって準備することができるようにアイデアスケッチや振り返りカードで考える時間を設ける。また、児童同士の自然な交流が可能なように意図的に座席を指定する。教師は、児童の意図を実現したり深めたりするのに必要だと思われる材料、資料写真、試作などを用意し、必要に応じて掲示したり、演示したりする。

##### ③振り返りの充実

個の振り返りと、それに対しての教師の言葉掛けを振り返りカードで行う。また、友達同士でよさや個性、変化を認め合うことができるように、製作途中で鑑賞の時間を設ける。

#### 4 題材計画（全6時間）

時間	学習活動	評価規準
事前	○自分の未来の姿を想像する。	
1 (本時)	○未来の自分の姿について想像し、アイデアスケッチに表したり、針金と芯材を使って、そのときのポーズを作ったりする。	<p><b>知</b> 自分の思いに合う体の動きや、周りの物も含めた全体のバランスを理解して芯をつくっている。</p> <p><b>主</b> 主体的に自分の未来の姿を想像して、ポーズや周りの様子を考えながらアイデアスケッチに表したり、芯の形を変えてよりよいポーズを試したりしている。</p>
2 3	○粘土を使って自分の未来の姿や周りの物を肉付けする。	<p><b>知</b> 粘土を使った肉付けの仕方が分かり、粘土の量や付け方に気を付けながら肉付けしている。</p> <p><b>思</b> ポーズや服装などを想像し、表したいことを思い付いている。</p>
4 5	○水彩絵の具やこれまで経験した材料を使って自分の未来の姿や周りの様子を表す。	<p><b>知</b> 既習の材料を活用して将来の自分や周りの様子を表している。</p> <p><b>思</b> 既習の材料や色の組合せを工夫している。</p> <p><b>主</b> 主体的に自分の未来の姿を想像し、既習の学習を生かして表したい場面をつくっている。</p>
6	○作品を展示し、友達の説明を聞きながら、自分や友達の作品のよさや工夫について伝え合う。	<p><b>思</b> 表現のよさや面白さ、作品にこめられた思いや願いを感じ取り、互いの作品を共感的に受け止めている。</p>

#### 5 本時の学習（1／6）

##### (1) 目標

未来の自分の姿について想像し、アイデアスケッチに表したり、針金と芯材を使ってそのときのポーズを作ったりすることができる。

##### (2) 授業の視点

本時は、本校の授業づくりの視点から、「①導入の工夫」に重点をおく。

児童には、事前に、未来の自分の姿について考えたり、インターネットを使って調べたりする時間を設けた。自分のつくりたいイメージをもたせるために、職業だけに限らず、やりたいことや夢など、自由に想像させ、友達との伝え合いや教師との対話、動作化、アイデアスケッチの活動を通して、どのように表すか考える時間を十分に設

ける。

(3) 準備物

- 教師…参考作品の写真、試作、芯になる材料、ラジオペンチ、危険物入れ  
図工室でインターネットが利用できる環境整備  
児童…教科書、筆記用具、タブレット

(4) 学習過程

学習活動と予想される児童の表れ（・）	手立て（○） 評価 [ ]
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="228 651 1273 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">表したい場面を想像し、ポーズを工夫して粘土のしんを作ろう。</div> <p>2 未来の自分の姿を思い浮かべて、つくりたいもののイメージをもち、発表する。また、発表を聞き、作りたい場面のイメージをふくらませて、アイデアスケッチに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・将来、トリマーになりたい。犬の毛を整えている姿を作りたい。</li><li>・何の職業につくかは分からないけれど、普通に暮らしたい。幸せな気分を表すことのできる場面は、家族と一緒に遊んでいるところかな。</li></ul> <p>3 針金や芯材を使って人物のポーズや、周りの物の表し方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・このポーズでうまくできているかな。試してみよう。</li><li>・犬をやさしく包むように手を大きく回して、優しそうな感じにしよう。</li><li>・人物だけでなく、椅子や机も必要だな。</li></ul> <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・振り返りカードに記入しながら、本時のまとめをし、次時の見通しをもつ。</li></ul>	<p>○活動の見通しをもたせるために、教科書や参考作品を見る時間をとる。</p> <p>○発表を基にして、主題やポーズに関するイメージを具体的にもたせるために、共感、質問、例示、助言などを行う。例えば、「普通に暮らす」とは、ということかと問い掛け、自分の思いをアイデアスケッチに記入させる。</p> <p>○机間支援をし、児童が困っていることや、ポーズや動き、バランスについての助言をする。自信がもてない児童には、判断の基準として、腰や体の傾き、ひねりなどの関節の動きに注意してつくとよいことを助言する。人物に付随する小物の芯にできそうなトレイやストローなどの材料を用意しておき、大きさのバランスについて考えるような問いかけをする。</p> <div data-bbox="817 1715 1401 1890" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;">自分の思いに合わせて人物の動きやバランスを工夫し、粘土の芯をつくりることができたか。 (作品・振り返りカード)</div>

犬の毛を整えているところできた。犬をかかえているポーズが優しそうな感じにできてよかった。次は、人物だけでなく、犬も粘土でつくるから、犬のポーズや、人物が持っている物について調べておきたい。

5 片付けをする。

○特に肉付けに関係のある部分について考えるように板書で示す。

○安全面に気を付けて片付けるように指示する。